

平成 27 年度一般社団法人
日本臨床心理士会臨床心理講座

講座 NO. 37 ひきこもりシリーズ講座 (1)
ひきこもり支援における心理職の対応

企画：一般社団法人日本臨床心理士会（ひきこもり対策検討班）

1. 研修内容

1) アセスメントと支援に役立てるアウトリーチ活動

相談や治療場面への登場だけでなく、援助要請そのものの声を上げることさえ困難な不登校・ひきこもり当事者は多く、このような支援対象者の特性に基づいたアウトリーチ型支援の重要性が叫ばれている。しかしながら、家族や関係者から語られる断片的な当事者像に基づくアセスメントや、家族という限定かつ間接的な支援経路に留まることの限界も存在する。本研修では事例を元に、必要とされるアセスメントと支援計画の作成、様々な訪問支援に際し、アウトリーチ活動をいかに効果的に進めていくかについて検討する。

2) アウトリーチ活動に求められる専門性

従来より家庭訪問や同行支援の必要性が訴えられながら、その方法・技術論についての検討機会は少なく、支援者個人の熱意や、一団体での抱え込みなどの弊害が指摘されてきた。では支援者に求められる専門性とはどのようなものだろうか。またアウトリーチ型支援は、地域における関係機関との連携で進めるものでもある。本研修ではアウトリーチ活動の実践における専門性および機関連携のポイントについて検討する。

2. 講師：三森 重則（静岡市地域ひきこもり支援センター）
江口 昌克（静岡大学）

3. 日時：平成 27 年 10 月 11 日（日） 10：30～16：30

4. 会場：（財）日本心理研修センター研修室（地図参照）
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-27-8-201

5. 参加費：会員・院生 6,000 円 非会員 7,000 円

6. 募集対象・人数：臨床心理士・大学院生 定員 50 名

7. 研修ポイント 2 ポイント

8. 申し込み方法：日本臨床心理士会 WEB ページよりお申込みください。

一般財団法人 日本心理研修センター地図

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-27-8-201

